

岡山大学大学院自然科学研究科

**松野隆幸 准教授**

平成6年卒業(第53回)



私は、平成6年3月に機械・航空工学科を卒業後、平成16年9月に名古屋大学大学院工学研究科マイクロシステム工学専攻博士課程を満期退学、同年10月からマイクロ・ナノシステム工学専攻に助手として1年半勤務いたしました。その後富山県立大学に異動し、現在は岡山大学大学院自然科学研究科に准教授として着任しております。

博士課程ではロボットによる柔軟物体のハンドリングをテーマに研究をおこなっておりまして、ハードウェアもソフトウェアも自分で考えることに大変苦労した記憶があります。今はロボットの開発ソフトウェアが整えられていて敷居が下がり大変良い時代になったと思います。また博士課程では指導教員の福田敏男先生の代理でJAXAの有識者会議に出席するという貴重な体験をしました。虎ノ門で行われた会議では戦々恐々としていた記憶があります。

現在の主な活動は、Interventional Radiology (IVR:画像下治療)手術支援ロボットを岡山大学医学部と医工連携で開発を進めております。名称はZerobotで、放射線科医のCT装置により被爆を抑制するために、医師の遠隔操作で患者の体表から深部に針を穿刺するロボットです。針穿刺によって取り出した腫瘍の病理検査などを行うことができます。Zerobotは独自に開発した6軸マニピュレータであり、現在の臨床機で3代目です。2018年6月6日に国内初の臨床試験をおこない、これまでに10例実施しました。博士課程で養ったロボット工学の知識を活用できていることを実感しております。

学会で先輩後輩の皆さまとお会いする機会があり、博士を多数輩出した福田研究室のOBの恩恵に授かっています。最後に私の恩師である福田敏男先生がIEEE President (米国電気電子学会 会長)に当選されました。誠にありがとうございます。